



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成23年8月1日

No.

105

第1回臨時会・第2回(6月)定例会

- 臨時会・第2回(6月)定例会報告…………… 2～8ページ
- 委員会レポート…………… 9ページ
- 一般質問(11人登壇)…………… 10～15ページ



▲ビーチフラッグの大会

再生紙を使用しています

第1回 臨時会

議会人事が変わりました

平成23年5月17日に第1回臨時会が開かれました。正副議長選挙の結果、議長に畑中由喜子氏、副議長に伊東圭介氏が選出されました。また、議会選出葉山町監査委員には笠原俊一氏が選任されました。



議 長
畑中由喜子

りが、充分に力を発揮し、議会の権能を果たして町民の負託や時代の要請に応えていけるよう、これから議会改革を進める必要があります。

議長あいさつ

5月17日に執り行われた議長選挙において、葉山町議会第43代議長に選任されました。議会を代表すると、この重責に身の引き締まる思いでおります。

現在、葉山町には、ごみ問題をはじめ、多額な経費を要する下水道問題、子育て世代や高齢者など誰もが安心して暮らせるまちづくり、地域社会の再生に加え、先の東日本

大震災を教訓として更なる防災体制の整備、安全のまちづくり、そしてまちづくりの基盤となる財政問題など多くの行政課題があります。

議会はこれらの問題解決に向けて、力を尽くしていかなければなりません。

行政に対するチェック機能や立法機能など、議会の役割はますます重くなっていきます。葉山町議会では2年前に議会基本条例を制定しましたが、

今後の議会運営について、14人の議員一人ひとりが、充分に力を発揮し、議会の権能を果たして町民の負託や時代の要請に応えていけるよう、これから議会改革を進める必要があります。

このたび、議会第1回臨時会において副議長に就任いたしました。

誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感し、決意を新たにいたしております。今後とも皆様方のお力添えをいただきながら、畑中議長を支えることはもとより、町民の負託にこたえ、葉山町発展のため、開かれた議会をめざし、さらなる議会改革を進め

よう、皆さまのご協力をいただきながら、ともに取り進む所存でございます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



副議長
伊東圭介

副議長あいさつ

このたび、議会第1回臨時会において副議長に就任いたしました。

誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感し、決意を新たにいたしております。今後とも皆様方のお力添えをいただきながら、畑中議長を支えることはもとより、町民の負託にこたえ、葉山町発展のため、開かれた議会をめざし、さらなる議会改革を進め

私たちが議員には、地方分権時代にあつて変化の激しい、先の見えない現代に対応するために今一度、政治の原点を見つめ直し、この地域の誇り高き歴史と伝統を踏襲し、斬新で大胆な発想と果敢なる行動力で時代を切り拓いていく、そんな使命が課せられているのではないのでしょうか。どんなに時代が変わったとしても、変わってはいけません。それが、次世代を担う子どもたちや将来この葉山のまちが好きになり暮らす人々への贈りものです。私たちがこの風光明媚な葉山のまちを先人たちが受け継いだように私たちの子ども世代には、私たちの創る「まち」がふるさとになります。その未来を担う子どもたちに夢や希望あふれるすばらしいふるさとを継承したいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

それは、「まち」を愛し「人」を愛する「こころ」です。私は、心かよう仲間と一緒にそんな「こころ」を育むことのできるまちづくりを実践していきたいと思ひます。まちづくりは、次世代を担う子どもたちや将来この葉山のまちが好きになり暮らす人々への贈りものです。私たちがこの風光明媚な葉山のまちを先人たちが受け継いだように私たちの子ども世代には、私たちの創る「まち」がふるさとになります。その未来を担う子どもたちに夢や希望あふれるすばらしいふるさとを継承したいと思ひます。

委員会メンバーのご紹介

総務建設常任委員会、教育民生常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会、ごみ問題特別委員会が設置されました。

ました。

総務建設常任委員会

- 田中 孝男 土佐 洋子
- 伊東 圭介 中村 文彦 (副委員長)
- 鈴木 道子 金崎 ひさ (委員長)



教育民生常任委員会

- 守屋 巨弘 窪田 美樹
- 荒井 直彦 長塚 かおる (副委員長)
- 笠原 俊一 山梨 崇仁 (委員長)
- 横山 すみ子



委員会名	所管事項
総務建設常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 総務部の所管に関する事項。(例)総合計画の策定、国際交流、情報公開、財政計画、地方税、町有財産など。 □ 都市経済部の所管に関する事項。(例)都市計画の策定、公園、産業振興、観光、道路河川など。 □ 他の常任委員会の所管に属しない事項。(例)会計、選挙、監査、消防など。
教育民生常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 保健福祉部の所管に関する事項。(例)社会福祉の企画、保健衛生、国民健康保険、介護保険、消費者保護など。 □ 生活環境部の所管に関する事項。(例)環境保全、下水道、清掃事業など。 □ 教育委員会の所管に関する事項。(例)学校教育、社会教育、生涯学習など。
議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 円滑な議会の運営を期すため、議長の諮問機関ないし補佐機関として設置される委員会。本町議会では平成3年に設置の条例化をした。議会の運営や、会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項について調査を行うと共に、議案、請願等の審査をする。
議会広報特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 議会広報紙「議会だより」の発行や、議会ホームページの編集等を行う。
ごみ問題特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> □ 本町におけるごみ問題に関する審査・調査をする。
議会選出の監査委員	<ul style="list-style-type: none"> □ 地方自治法第195条で、町村は2人の監査委員を置くとしている。第196条で町長が議会の同意を得て、議員のうちから1人を選出する。

議会運営委員会

田中 孝男 鈴木 道子
 山梨 崇仁 荒井 直彦 (副委員長)
 笠原 俊一 守屋 巨弘 (委員長)
 横山 すみ子



議会広報特別委員会

伊東 圭介 金崎 ひさ
 中村 文彦 窪田 美樹 (副委員長)
 長塚 土佐 洋子 (委員長)
 かおる



ごみ問題特別委員会

横山 すみ子 (委員長)
 田中 孝男 (副委員長)
 鈴木 道子 長塚 かおる
 窪田 美樹 守屋 巨弘
 中村 文彦 荒井 直彦
 笠原 俊一 土佐 洋子
 山梨 崇仁 金崎 ひさ
 伊東 圭介

議会選出の監査委員



笠原 俊一

こんなことが決まりました

第1回臨時会において
 議案6件等を審議しました。

町長行政報告

◎専決処分の承認について ◎平成23年度葉山町一般
 て(平成22年度葉山町一 会計補正予算(第1号))
 般会計補正予算(第7号) 1. 緊急雇用創出事業臨
 大震災発生に伴い、避 時特例基金市町村補助金
 難した住民に備蓄食料を を活用して以下の事業を
 提供したため、その補充 行う。
 また使用した毛布のクリ ①国民健康保険料徴収
 ーニングを行った。 強化事業への繰出金。
 全会一致で承認しました。 ②非常勤保育士1人の
 採用(23年6月～24年
 ◎専決処分の承認につい 3月)
 て(平成22年度葉山町老 2. 教育研究所非常勤職
 人保健医療特別会計補正 員2人の採用(23年4月
 予算(第2号)) に遡り24年3月まで)
 全会一致で承認しました。 全会一致で可決しました。

◎専決処分の承認について ◎平成23年度葉山町国民
 (葉山町国民健康保険条例 健康保険特別会計補正予
 の一部を改正する条例) 算(第1号))
 ①基礎賦課限度額等の 全会一致で可決しました。
 引上げ
 ②出産育児一時金の額 ③監査委員の選任について
 の見直し 議会選出監査委員
 全会一致で承認しました。 全会一致で同意しました。

町長行政報告
 ・3月11日の東日本大震
 災時、本町においての災
 害対策本部設置、避難所
 での対応、福島からの避
 難者受け入れ、支援物資
 ・義援金の取り組み等を
 行った。更に総務課防災
 係を中心に緊急時対策の
 見直しに取り組んでいる。
 ・横須賀・三浦両市との
 損害賠償請求訴訟の和解
 に向けた話し合いを代理
 人を通し続けている。(の
 ちに6月定例会の報告に
 よると、和解は困難な状
 況であり協議は打ち切り
 となり判決を待つことと
 なった)
 ・下水道投入施設建設事
 業に係る事実関係は調査
 委員会を設置し、後日調
 査結果を報告する。

こんなことが決まりました

第2回定例会を6月7日から6月17日まで開催しました。一般質問では11人の議員が行政の課題をただしました。そして、さまざまな問題点をかかえた補正予算などの審議をしました。町民からの請願・陳情は各委員会へ付託しました。



◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第2号)について
◎農業委員会委員の推薦について

青少年会館建替事業、伊東圭介氏の再任及び塵芥処理費、葉山南郷地区活性化事業、消防費、鈴木恵子氏の新任を求め小学校管理事業など多くの事業に係る補正が組まれたものでした。全会一致で可決しました。

賛成多数で可決しました。

◎葉山町手数料条例の一部を改正する条例

町村情報システム共同化により諸証明等の交付手数料の取扱いの見直しを求めるものです。全会一致で可決しました。

◎神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

◎人権擁護委員の推薦について

横田昌和氏、瀬高かほる氏及び本多清法氏の再任を求めるものです。三氏とも全会一致で可決しました。

平成23年度補正予算



補正予算質疑

間に葉山の特産品を販売する。

問 35人以下学級に備へ、特別支援学級の教室確保とは。

教育長 一色小で教室が1つ足りなくなることに加え、簡易間仕切りで行っている算数の少人数学級と特別支援クラスを木製の間仕切りで2つにした。

問 ブックススタート用絵本について。

保健福祉部長 4カ月健診で配布し10カ月健診で検証する。

問 緊急消防援助隊の装備品について。

消防長 救命胴衣とトラシーパーを購入する。

問 AED機器購入と救命講習会講師謝礼について。

保健福祉部長 「ぼけっ」とに子供用のAEDを設置する。その費用と講習料が全額県の補助で入るのでリースではなく、購入し、「ぼけっ」とへ出張講習を2回行う。

●農業委員会委員選挙費用 148万円

●青少年会館建替えの実設計委託料 250万円

●大腸がん検診無料クーポン券送付等により受診の促進を図る 180万円

●ごみの戸別収集の延期及び焼却炉の停止によるごみ運搬処分委託等に係る経費の更正増 1億1339万円

●町の玄関口となる南郷地区の活性化を図るため調査及び実験販売事業を補助金を活用して行う 補助率100%

●東日本大震災に係る緊急消防援助隊に必要な装備の整備 121万円

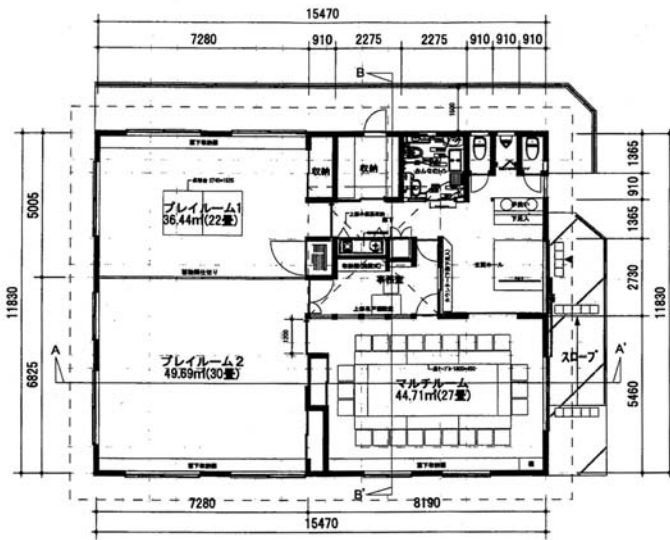
●消防団員の安全確保等に必要の備品購入費 224万円

●小学校第1学年の学級編成が35人となったことにより教室の間仕切り工事等を行う 129万円

収入増 941万円

1億172万円

の部分で8月から10月の



青少年会館基本設計平面図

問 衛生費雑入が22年度予算に比べ増額しているが。

生活環境部長 22年度は、予算額を上回った決算となっている。

問 青少年会館の建替えの完成時期は。

保健福祉部長 24年6月までは完成させる。

問 その建替え期間中の児童保育場所は。

保健福祉部長 候補地は3カ所考えているが2カ月後には決定する。

問 ごみの戸別収集開始の延期に伴い更正増したのであれば、不用になる額の更正減もすべきではないか。

生活環境部長 現時点では、今年度の対応が明確でないので更正減はしなかつた。

問 更正増は7月から来年度3月までの期間を見込んでみるにもかわらずつて対応が明確でないという

生活環境部長 年度途中

で戸別収集を行うとなれば業者とは1月以降の契約は解除する。

問 指定袋・戸別収集・資源ステーションの3点セットでしか行わないとの答弁を得ているが、それでは、9月に指定袋の条例を再提出するつもりなのか。

生活環境部長 再検討させてもらう。

問 資源回収売上代941万円の計上内容は。

生活環境部長 7月から来年度3月までの雑入見込みであるが、アルミ缶等が862万円、紙類が80万円である。

転費用、人件費等の減額があり、採算が合う。

問 不燃物処理施設の補修費用について。

生活環境部長 当初、資源物については行政収集を止める予定であったが、できなくなったので必要な補修を行うこととした。

問 当初予算で組んだ補修費1430万円はすでに支出し、不足したから計上したのか。

生活環境部長 使い切つてはいない。資源ステーション設置の延期に伴い、利用頻度が通常に戻るの

問 量の見込みは。

生活環境部長 アルミ缶4万kg、スチール缶14万kg、牛乳パック2千kg、新聞11万kg、雑誌21万kg、ダンボール類18万kg。

問 このような有価物を資源ステーション設置により、町の収入にならないという問題は。

生活環境部長 その代わりとして、収集費用、運

りとして、収集費用、運

(単位：千円)

会計名	補正前の 予算額	補正予算額 (第1回臨時会)	補正後の予算額 (第1回臨時会)	補正予算額 (第2回定例会)	補正後の予算額 (第2回定例会)	
一般会計	8,998,900	3,620	9,002,520	30,187	9,032,707	
特別会計	国民健康保険	3,537,501	1,785	3,539,286	0	3,539,286
	後期高齢者医療	681,652	0	681,652	0	681,652
	介護保険	2,341,882	0	2,341,882	0	2,341,882
	下水道事業	1,235,699	0	1,235,699	0	1,235,699
	小計	7,796,734	1,785	7,798,519	0	7,798,519
合計	16,795,634	5,405	16,801,039	30,187	16,831,226	

歳入歳出予算の総額

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

- ◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択についての請願 …………… 採 択
- ◎望ましい歴史教科書の採択を求める陳情書 …………… 審議未了
- ◎私立幼稚園就園奨励費に関する陳情書 …………… 採 択
- ◎葉山のこどもたちが安心して暮らせるように、情報の公開・共有など、学校や行政機関の協力への陳情 …… 趣旨了承
- ◎要望書(今回の東日本大震災を考える) …………… 机上配布
- ◎12月9日の議長発言を着実に実施することの決議を求める …………… 机上配布

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎陳情22-3号「葉山町ゴミ焼却炉のダイオキシン測定に関する陳情書」に関連する経過報告のお願いの陳情 (葉議第46号の件)
- ◎神奈川県最低賃金改定等についての陳情
- ◎葉山町非常勤特別職の報酬の改正を求める陳情書
- ◎葉山町議会議員の報酬削減を求める陳情書
- ◎12月9日の議長発言を着実に実施することを求める、陳情
- ◎葉山町職員給与の改正を求める陳情書
- ◎葉山町町長および教育長の給与の削減に関する陳情書
- ◎浄化センター処理能力改定の事実調査と調査結果を公にする事を求める陳情
- ◎こどもたちの健やかな成長のための協力への陳情
- ◎「給食の食材が放射線量ゼロであることを目指す事及び、教育委員会主体の給食説明会を早急に開催する事」の陳情書
- ◎「放射線量と子ども達の安全を考える」陳情書
- ◎「葉山町にある公立保育園、小中学校の土壌検査の早急実施願ひ」の陳情書
- ◎「町民参加型の(仮)葉山町放射能汚染に関する意見交換会の開催及び継続的な町民参加型の対策会議委員会設置要望」の陳情書

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により、提出先へ送付しました。

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

今般、小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、少人数学級の推進にむけて、ようやくスタートを切ることができた。

日本は、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数がOECD諸国に比べ多い。校内暴力、不登校、いじめなど、生徒指導面の課題が深刻化している。また、障害のある児童生徒や日本語指導など特別な支援を必要とする子どもが顕著に増えている。こうした状況下で、地方が独自に実施する少人数学級は高く評価されており、一人ひとりの児童生徒に丁寧な対応を行うためには、1クラスの学級規模をさらに引き下げる必要がある。

一方、教育予算については、GDPに占める教育費の割合はOECD諸国の中で日本は最下位となっている。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより自治体財政は圧迫されている。

教育の機会均等と水準の維持向上を図るためには、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元することが必要である。

よって、政府に対し、平成24年度の予算編成において次の事項の実現を強く要望する。

- 1 少人数学級を一層推進し、学級規模は30人以下学級とすること。
- 2 義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年6月17日 葉山町議会

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

表 決 結 果

〔第1回臨時会〕

議案・決議・意見・陳情等	議員名(議席順)													結 果	
	鈴木道子	長塚かおる	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	山梨崇仁	横山すみ子	金崎ひさ	伊東圭介		畑中由喜子
議案 専決処分の承認について (平成22年度葉山町一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案 専決処分の承認について (平成22年度葉山町老人保健医療特別会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案 専決処分の承認について (葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案 平成23年度葉山町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 平成23年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	-	同意

〔第2回定例会〕

議案・決議・意見・陳情等	議員名(議席順)													結 果	
	鈴木道子	長塚かおる	窪田美樹	守屋巨弘	田中孝男	中村文彦	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	山梨崇仁	横山すみ子	金崎ひさ	伊東圭介		畑中由喜子
議案 平成23年度 葉山町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×討論	×	○	○	○討論	○	○	○	○討論	○	-	可決
議案 葉山町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
請願 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択についての請願	○	○	○	×討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情 私立幼稚園就園奨励費に関する陳情書	○	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
陳情 葉山の子どもたちが安心して暮らせるように、情報の公開・共有など、学校や行政機関の協力への陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
意見 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書(委員会提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	-	可決
農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	-	決定
議案 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例(議員提案)	×	×	×	◎	○	×	×	×討論	×	×	×	○	×	-	否決
決議 「葉山町ごみ処理基本計画」の修正に際しては丁寧な説明を行うよう求める決議(委員会提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※「除斥」とは、審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

※議事は過半数で決するのを原則とし、議長に表決権はありませんが、特別多数議決の案件(長に対する不信任の議決等)の場合は、議長にも表決権があります。

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

平成23年5月17日に、新メンバーによる、当委員会が設置されました。

6月17日に、「神奈川県最低賃金改定等についての陳情」「葉山町非常勤特別職の報酬の改正を求める陳情書」「葉山町職員給与の改正を求める

陳情書」「葉山町町長および教育長の給与の削減に関する陳情書」が付託され、閉会中に審査をいたします。

委員長 金崎ひさ

教育民生

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択についての請願

小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正されたことを受け、2項目について国へ意見書の提出を求めているものです。

審査では、「地方自治体が関与できる範囲には限界がある」という意見もありましたが、「国の計画実現には経済財政状況に強い影響を受けることから、子どもたちの教育について優先順位を下げないよう要望すべきである」と、「教育は国策の部分が多く、その着実な実現のため国に要望すべきである」との意見が大勢を占め、採決の結果、賛成多数により採択し、意見書を政府関係機関に提出すべきものと決しました。

ある」、「教育は国策の部分が多く、その着実な実現のため国に要望すべきである」との意見が大勢を占め、採決の結果、賛成多数により採択し、意見書を政府関係機関に提出すべきものと決しました。

委員長 山梨崇仁

私立幼稚園就園奨励費に関する陳情書

町の私立幼稚園就園奨励費は、平成19年度に9千円に増額されましたが、その後は現状維持のままです。一方、逗子市は年額1万6千円に増額し、また所得制限もないため、町との格差が広がっています。よって、公立幼稚園のない町内では私立幼稚園就園奨励費に準に近づけ、子育てしやうい町にするよう求めるものです。

審査では、「逗子市との比較を拙速に判断できない」との意見もありましたが、「町長が子育て

日本一を目指すという公約を掲げていることかならない」という意見もありましたが、担当部長から「み水準に近づけるべきである」、「保護者の負担の軽減が必要である」との意見が大勢を占め、採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決しました。

委員長 山梨崇仁

葉山の子どもたちが安心して暮らせるように、情報の公開・共有など、学校や行政機関の協力への陳情

東日本大震災の影響で、東京電力福島第一原子力発電所事故が起き、現在も予断を許さない状況です。子どもを持つ保護者等から町や学校の放射線量等の情報を求める声が上がっていることから、6項目について、学校や行政機関が積極的な情報公開・共有等を行うことを求めるものです。

審査では、「学校給食の食材については、地産地消の推進や風評被害の

防止の観点から賛同できない」という意見もありましたが、担当部長から「測定経費についての予算計上に前向きな答弁があったことなど、全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

委員長 山梨崇仁

議会運営

定数7人の新たな顔ぶれで、現在まで3回開催し、主に第1回臨時会並びに平成23年第2回定期会の円滑な議会運営を期すために、諸議案・陳情案件等々の取り扱いにつき審査しました。

今後は新議長の名により、各議員から「議会改革」に関する提案等を募り、より一層議会の活性化に向け、委員一同努めてまいります。

委員長 守屋亘弘

ごみ問題特別

13人で構成するごみ問

題特別委員会が、5月17日の本会議で設置されました。

6月1日、ダイオキシンの調査の現況について、ごみ処理の現況について、裁判の和解決況について、担当課からの報告を受けました。

委員長 守屋委員から、指定袋の費用対効果について矛盾の指摘があり、担当職員から、指定袋に関する費用対効果を再計算するとの答弁がありました。

6月16日、委員会として「葉山町ごみ処理基本計画」の修正に際しては丁寧な説明を行うよう求める決議を全会一致で可決、17日の本会議で可決されました。

「葉山町焼却炉のダイオキシン測定に関する陳情書」に関連する経過報告のお願いの陳情

継続審議とし、陳情者から6月27日の休憩中にお話を伺いました。委員長 横山すみ子



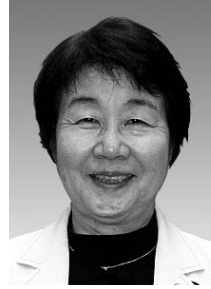
牛ヶ谷戸の収集終了の看板

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

横山すみ子

町長 ごみ処理広域化協議離脱は町長自身の意思か
自分の意思である



排出者責任を完全に履行しようとする場合においては、これらのごみを処理する施設は必須条件となる」と記載されている。

町長 現在のクリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。

町長 大震災を踏まえ、必要性を再度検討する。

町長 総合計画中期基本計画のごみ処理に関する項目

の資料に「いくら資源化や減量化を進めたとしても、最終的に焼却対象ごみは発生し、最終処分ごみも発生する。よって、この資料の内容は承知しているか。」

町長 承知している。資源化・減量化しても施設は必要だが、徹底したごみの資源化、減量化を進

めていく。

町長 ごみ焼却炉排水中のダイオキシン類基準オーバーの原因究明と解決の見通し、その追加経費は。

町長 現在クリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。

町長 焼却炉停止後の追加費用は、可燃ごみ処分運搬委託、クリーンセンター

の資料の内容は承知しているか。

町長 承知している。資源化・減量化しても施設は必要だが、徹底したごみの資源化、減量化を進

めていく。

町長 ごみ焼却炉排水中のダイオキシン類基準オーバーの原因究明と解決の見通し、その追加経費は。

町長 現在クリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。

町長 焼却炉停止後の追加費用は、可燃ごみ処分運搬委託、クリーンセンター

の資料の内容は承知しているか。

町長 承知している。資源化・減量化しても施設は必要だが、徹底したごみの資源化、減量化を進

めていく。

町長 ごみ焼却炉排水中のダイオキシン類基準オーバーの原因究明と解決の見通し、その追加経費は。

町長 現在クリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。

町長 焼却炉停止後の追加費用は、可燃ごみ処分運搬委託、クリーンセンター

の資料の内容は承知しているか。

町長 承知している。資源化・減量化しても施設は必要だが、徹底したごみの資源化、減量化を進

めていく。

町長 ごみ焼却炉排水中のダイオキシン類基準オーバーの原因究明と解決の見通し、その追加経費は。

町長 現在クリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。

町長 焼却炉停止後の追加費用は、可燃ごみ処分運搬委託、クリーンセンター

の資料の内容は承知しているか。

田中孝男

町長 広域化離脱時に費用負担は決まっていたのか
勘違いだった。決まっていなかった



うイメージづくりがされているが、この誤解を解いておきたい。

町長 均等割、いわゆる賦課方式について組合を設立してから決める。契約をしてスタートしてから組合で均等割りはこれだけとやられることに危険性を感じた。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

清掃等、ダイオキシン類検査等、合計約1億1262万円である。

町長 町消防職員の定数は、国基準に対する充足率が県下最低である。大震災を踏まえ、増員すべき。

町長 総合的に判断し、努力する。

町長 打ち切った自主防災組織の防災資機材購入助成を、年度内にも復活を。

町長 大震災を踏まえ、必要性を再度検討する。

町長 総合計画中期基本計画のごみ処理に関する項目

の資料に「いくら資源化や減量化を進めたとしても、最終的に焼却対象ごみは発生し、最終処分ごみも発生する。よって、この資料の内容は承知しているか。」

町長 承知している。資源化・減量化しても施設は必要だが、徹底したごみの資源化、減量化を進

めていく。

町長 ごみ焼却炉排水中のダイオキシン類基準オーバーの原因究明と解決の見通し、その追加経費は。

町長 現在クリーンセンターの生活系排水の放流に向け準備中である。



クリーンセンター焼却炉

町長 離脱した時には細かい条件設定は無かった、これからの協議事項であったという事でよいか。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

町長 勘違いだった。費用負担は決まっていなかった。

中村文彦

指導力がない町長が一人で危機対応できるのか
町長 危機対応の責任者は町長である



現場に行つて、職員との意思疎通を行っていないのか。

問 葉山のごみ処理の状況は、町長が掲げる単独処理に対し、公約違反ではないか。

町長 公約違反ではない。職員による事故急増について何う。町長は指示し、命令しただけで、

問 今年度に入ってから森町長は来ていないとの情報は間違いか。

町長 今年度に入ってから行っていない。やはり危機管理ができていないと判つたので、

町長 特にクリーンセンターに行つた時には、職員を集めて訓示している。

問 今年度に入ってから森町長は来ていないとの情報は間違いか。

町長 今年度に入ってから行っていない。やはり危機管理ができていないと判つたので、

この件は委員会で調べた。なぜ今まで副町長を置かないのかと聞いたが、公約違反になるから置かないと言つたが、3月定例議会での「人選に

問 責任であると考えている。森町政は副町長が決定できないほど、危機的状況であるのか。

町長 危機的状況とはと

守屋亘弘

地域手当等の見直しは
当初予算では実現していない



問 平成23年度当初予算

に関し、「広報はやま」

4月号に引続き同5月号

で、本年度での主な取り

組みとして、1点目が中

期財政計画に沿つた計画

的な財政運営について。

2点目が社会経済情勢を

踏まえた職員給与の適正

当っている」との発言と矛盾するのではないかと、

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

町長 状況であるとか、人間の考え方というものは常に一定とは限らない。

公用車の事故



地域手当の引き下げ
どうなっているのだ!!



化について。3点目が適正な定員管理と効果・効率的な組織体制の構築についてとある。即ち中期財政計画に沿つた計画的な財政運営とは何か。例えば「給与については類似する地方自治体等と比較して均等を保てる給与水準に改めるとともに、地域手当を国が定める基準に合わせた支給率に引き下げる」とあり、また「非常勤特別職の報酬を改定等を議会に諮るべき」とある。引き続き近隣市町村の動向も見据え、職員給与の適正な管理に努めてまいりたい。3点目の適正な定員管理と効果・効率的な組織体制の構築についての消防本部職員の充足率は正につき、消防本部内で検討した結果を、消防長から長期配備計画案が提示されたので、町全体の定員管理を含め総合的に判断したい。

鈴木道子

防災士や自主防災組織への補助をすべきだが

町長 十分に取組み



235人が当った。今後は業務継続計画等策定の指示を出している。現在は磁気テープを草津町に保管している。本年10月から

は県情報システム共同化に伴い、データを県央で管理し災害発生時に備え

を計画する所もある。

問 放射線量測定は。

総務部長 校庭等で毎週実施している。

問 プールの水、下水道汚泥の放射線量測定は。

教育長 プール水抜き時

問 介護需給者で自宅介護希望者が55%強おられる。町の在宅介護に対する更なる支援は。

保健福祉部長 在宅介護も、計画の中で練り直していくよう検討していく。

問 子宮頸がんワクチン不足で未接種者が多い。未接種対象者に対し、今後の対応は。

保健福祉部長 接種有効期限の延長を検討しており、対象者には知らせる。

問 臭いといわれている。学校のトイレ整備は。

教育長 財政状況等を考慮し、順次整備していく。

問 中学校の給食実施については。

教育長 財政面、実施方法等、多方面から検討している。町の規模にあった方式について更に研究する。

問 学校体育館の照明等の天井設備耐震対策は。

教育部長 財政状況等を考え早急に対応を検討する。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。



学校体育館天井

窪田美樹

介護保険改悪で要支援が切り捨てられるが
保健福祉部長 サービス低下にならないように考える

水生動物採集は中止した。本部に4台だ。必要に応じて配備していく。

問 子育て支援について

町長 トリプルPの紹介講座で28人参加があった。

問 補正予算で補助をする。

その他の質問 LEDと省エネ対策について。

問 AED配備と計画は。

町長 13カ所14台で消防

問 介護需給者で自宅介護希望者が55%強おられる。町の在宅介護に対する更なる支援は。

保健福祉部長 在宅介護も、計画の中で練り直していくよう検討していく。

問 子宮頸がんワクチン不足で未接種者が多い。未接種対象者に対し、今後の対応は。

保健福祉部長 接種有効期限の延長を検討しており、対象者には知らせる。

問 臭いといわれている。学校のトイレ整備は。

教育長 財政状況等を考慮し、順次整備していく。

問 中学校の給食実施については。

教育長 財政面、実施方法等、多方面から検討している。町の規模にあった方式について更に研究する。

問 学校体育館の照明等の天井設備耐震対策は。

教育部長 財政状況等を考え早急に対応を検討する。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。

問 町は震災ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。ボランティアに多くの方々にいらっしゃる。



昨年の防災訓練

金崎ひさ

防災マニュアルづくりで町民の意見収集を
町長 早急に行う



室にて、出張対応した。

協議する。

問 夜遅くまで児童・生徒の保護者への引き取り

問 運動場等の土中の放射線量の測定は。

要請の放送が流れた。帰宅困難者もいた中、放送

教育長 していない。

内容の一考が必要だ。

問 企業の日曜出勤に備え、保育園の日曜開放は。

教育長 伝え方を工夫。

保健福祉部長 要望がある数字はまやかしてである。

問 東日本大震災を教訓とした町の課題は。

問 学校での防災キャンプ等を企画しては。

問 その翌年の削減はゼロとなり、費用対効果の数字はまやかしてである。

町長 防災行政無線の重要性を感じ、今後はデジタル化の更新計画を行う。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 防災行政無線の難聴エリア、逆にクリアに聞こえる世帯数は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 幼稚園児の安全確保の指導は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

消防長 消防本部の司令

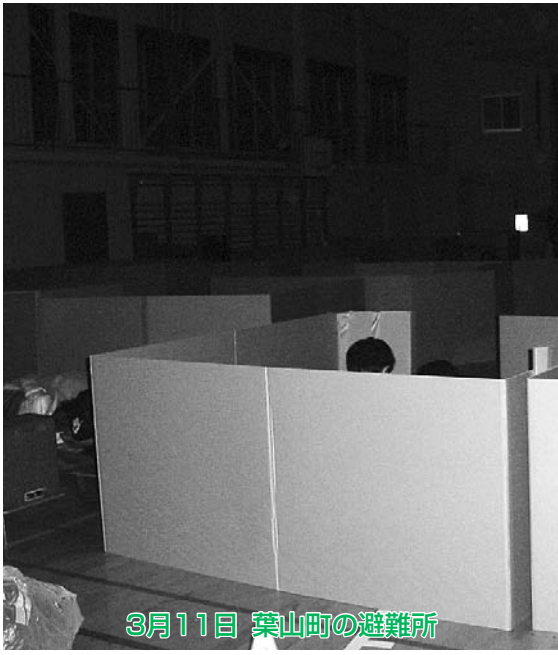
教育長 幼稚園協会等と

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

消防長 消防本部の司令

教育長 幼稚園協会等と

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。



3月11日 葉山町の避難所

山梨崇仁

自粛ではなく、うまく活用を
都市経済部長 何とかなきやいけない、職員全員で頑張る



生活環境部長 指定袋を

問 ごみの意見交換会で提出された資料に、「指定袋の製作費に3600万円経費がかかるが、焼却費用の削減が6400万円見込まれる」とある。何年かかかっての減額か。

問 焼却炉の改善計画がまだ県に提出されていない状況であり、将来計画はどうするつもりか。

問 企業の日曜出勤に備え、保育園の日曜開放は。

町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 その翌年の削減はゼロとなり、費用対効果の数字はまやかしてである。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 生活環境部長 1年。町長 明確な時期は承知していないが最終調査結果を見ながら結論を出す。



南郷地区・地域経済の活性化へ

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

問 湘南ビーチFMスタジオの津波対策は。

土佐洋子

東日本大震災での町の対応は

町長 沿岸地域の住民に対し避難指示を発令



「広報はやま」等を通じ周知を徹底していく。

問 町内会単位で避難場所を決めておくべき。

消防長 避難場所が町内会ごとに決められていればスムーズに避難できる

と思うので検討する。

問 長期滞在避難所指定の南郷上ノ山公園が収容

人員1万2770人だが屋外に避難するのか。

消防長 町で所有するテナント40張以上で対応。

問 夜間の避難誘導は。

都市経済部長 太陽光で発電して、夜間交差点を照らす交差点鉾や街灯などスピードをあげて話を

含めて検討中。

荒井直彦

防災試験放送の時間帯の見直しを 総務部長 統一をする事も検討したい



問 町民からは年間統一時間を希望する声もあるが。

総務部長 昭和62年開局

当時から、実施し、2つに分けている根拠はない。

過去（平成18年）に町民の方に調査し、現在は夏時間が18時、冬時間が17

詰めているので大丈夫。

問 ペットを連れての避難の対応は。

町長 避難所の全てで禁止なわけではない。

問 津波ハザードマップ、海抜6mバッファゾーンのライン見直しは。

総務部長 町独自の対策

として避難経路計画、海抜6mラインの見直しも

含めて検討中。

問 鎌倉市では被災者に

住宅、駐車場、生活支援などの補助をしているが町としてはできないか。

総務部長 近隣市が実施

しているのであれば、参考にしたい。

問 観光資源の発掘は。

町長 夏みかんを用いた

新商品の開発を商工会の協力により東京家政学院

時ということになってい

る。統一をするというこ

ともひとつ検討をし、町

内会・自治会のご意見を

聞いて、そういう声が多

ければ、その方向の調査

も行う。

問 新しい防災計画書はいつ改正か。

総務部長 改正する場合は、法律で定めがあり、

対策に大変重要な制度で

あり、できる限り、早急

に、審議し、県の了解を

受け整備をする。早くて

も、平成25年までには、

改正しなければならぬ。

問 新しい防災無線に関

しての予算化はいつ。

総務部長 今の行政無線



防災無線



鎌倉市のボランティアバス

の計画は、デジタル化をした場合の計画で、2億円強の試算が出ている。国や県の補助金の対応も、重々調べながら、年次計画等を持って、整備の方向の検討を進める。

長塚かおる

学校環境整備における予算不足について 教育長 今後よりよい教育環境の充実を



組んでいるが、**教育長** 非常にありがたい。私も一昨年校庭脇の木の枝を伐採したようにやっていきたい。

め、この試行事業は、本
当に必要なのか考えてい
きたい。

問 葉山保育園園庭の水はけの悪さについて。

問 町長の施政方針で、教育環境整備の強化とあるが、各学校の教材費や備品代は、近隣市と比べて劣り、豊かな学習や経験に影響があるのでは。

保健福祉部長 子どもが

るが、各学校の教材費や備品代は、近隣市と比べて劣り、豊かな学習や経験に影響があるのでは。

速に行っている。

町長 毎年の予算編成に至り、少人数学級によるよくわかる授業に重点をおき、教育予算は、現場の意見を優先。

問 小学校での暑さ対策で、PTAが扇風機購入という事実は、ご存知か。

至り、少人数学級によるよくわかる授業に重点をおき、教育予算は、現場の意見を優先。

教育長 承知している。

の意見を優先。

委員会でも普通教室に扇風機を入れたこともあり、その方向でも考える。

成は、先生方に相当辛抱していたらいているが、教育委員会も最大限の努力をしている。

問 校庭遊具の老朽化は。

教育委員会も最大限の努力をしている。

教育長 毎年1回、業者に点検を依頼。劣化が進んでいるが、教育委員会

問 放課後の居場所試行事業について、地域社会との連携は。

の判断で使用。

との連携は。

問 葉山小周辺の草取りなどを保護者有志で取り

地域の方、遊ばせ方も含



老朽化した遊具

決議を提出しました

「葉山町ごみ処理基本計画」の修正に際しては丁寧な説明を行うよう求める決議

提案理由

ごみ行政に関し、森英二町長は葉山町議会に対し、これまでの答弁に一貫性がなく、将来展望が大きく示されていない。今後、焼却炉の廃炉など大きなごみ施策の転換が予測される。よって、葉山町ごみ処理基本計画の修正に際しては丁寧な説明を行うよう求めるため、提出するものです。

1 ごみ焼却施設の廃止等、大きな変更を行う場合は、町長の独断ではなく、まず「ごみ処理基本計画」の修正を行い、町民・議会に丁寧な説明を行い、理解を得てから実施すること。

2 「ごみ処理基本計画」の修正に際しては、その事業の複数の選択肢を示し、そのメリット、デメリット及び所要経費等について比較検討できる資料を作成し、提示すること。

を議会として求める。

以上、決議する。

平成23年6月17日 葉山町議会

議会活動日誌

今回は、第1回定例会終了以降、第2回定例会終了までの活動報告をいたします。

3月	9日	新議員説明会	6月	1日	ごみ問題特別委員会
3月	10日	全員協議会	2日	議会運営委員会	
3月	17日	本会議(臨時会)	7日	本会議(定例会)	
4月	9日	総務建設常任委員会	8日	本会議(定例会)	
4月	10日	教育民生常任委員会	9日	本会議(定例会)	
4月	13日	ごみ問題特別委員会	10日	教育民生常任委員会	
4月	14日	議会運営委員会	13日	ごみ問題特別委員会	
4月	16日	議員懇談会	14日	議会運営委員会	
5月	17日	本会議(定例会)	16日	議員懇談会	
5月	31日	議員懇談会	17日	本会議(定例会)	

表紙説明

気象庁より梅雨明けが発表された7月9日土曜日、葉山森戸海岸にて海開き式が執り行われました。

そして、葉山町商工会主催・葉山町商工会青年部主管の今年で第10回目となるビーチフラッグの大会「Hayama Beach Flag Grand Prix 2011」も行われました。

ビーチフラッグの世界チャンピオン遊佐雅美選手をゲストに迎え、子ども



もから大人まで300人強の参加者が暑い浜での温泉宿泊券も当たる大熱戦を繰り広げました。ビーチクリーンの参加者には姉妹都市草津町の温泉水もあり、一日大盛り上がりとなりました。

議会インターネット生中継アクセス数

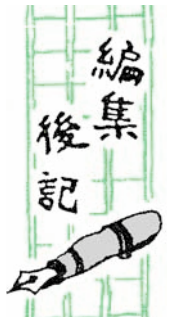
平成23年 第1回 定例会	第1日目	平成23年2月 8日	264件
	第2日目	平成23年2月15日	163件
	第3日目	平成23年2月16日	95件
	第4日目	平成23年3月 4日	106件
	第5日目	平成23年3月 7日	207件
	第6日目	平成23年3月 8日	316件
	第7日目	平成23年3月 9日	137件
	第8日目	平成23年3月10日	368件
計			1,656件

平成23年 第1回 臨時会	第1日目	平成23年5月17日	246件
	計		246件

平成23年 第2回 定例会	第1日目	平成23年6月 7日	212件
	第2日目	平成23年6月 8日	200件
	第3日目	平成23年6月 9日	295件
	第4日目	平成23年6月17日	33件
	計		

録画中継アクセス数

平成22年 4月	165件	平成22年12月	282件
平成22年 5月	96件	平成23年 1月	60件
平成22年 6月	279件	平成23年 2月	171件
平成22年 7月	91件	平成23年 3月	337件
平成22年 8月	24件	平成23年 4月	189件
平成22年 9月	108件	平成23年 5月	168件
平成22年10月	304件	平成23年 6月	448件
平成22年11月	65件	計	2,787件



平成23年議会第1回定例会が閉会した翌日の3月11日に東日本大震災が起きました。被災地では今もなお多くの方々が不自由な生活を余儀なくされており。また葉山町にも避難されている方々がいらっしゃいます。被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りしております。

近隣市では、震災によ

り住居が全壊や半壊、原発事故の避難対象地区に住んでいた方を対象に住宅賃貸、駐車場代、生活支援金、入居支援金などを補助をしています。また被災地支援のために災害ボランティアバスの派遣をしております。ぜひとも町としても、早くに取り組むべきです。

計画停電等で混乱する中、被災地を除く全国で統一地方選挙が行われました。この葉山町においても4月24日に町議会議員選挙が行われ、議員定数が17人から3人減の14人となりました。この議会広報特別委員会は改選前までの8人から、今回より6人の委員で編集にあたることになりました。

「議会だより」の発行、編集・運営等、議会広報に関して調査及び研究等を行う特別委員会ですが、議会について町民のみならず、皆さまにお知らせする、とても大切な役割があると考えます。

議長 畑中由喜子
副議長 土佐洋子
議会広報特別委員会 窪田美樹
中村文彦
伊東圭介
長塚かおる
金崎ひさ

**平成23年第3回定例会は
9月6日(火)
からの予定です。**

皆様の傍聴をお待ちしています。
<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>

町民のみなさまが読みたいと思いい、読んでいただき、わかりやすい「議会だより」作りを目指してまいります。

今年4回発行される「議会だより」は委員が順番に編集後記を書かせていただきます。

今年には節電モードですます暑さの厳しい夏となりそうですが、熱中症等にお気をつけください。

7月8日記 土佐洋子